

武蔵野北高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化

単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 1組～ 6組

使用教科書：（高等学校 精選 言語文化（東京書籍））

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。	論理的に考える力や深く共感したり想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	配	
			語	書					
1 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解する。 説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に読書を読み、互いに話のおもしろさを伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。 教材…見のら裏 一人1台端末の活用 等 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識及び技能】 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取っている。 説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に読書を読み、互いに話のおもしろさを伝え合うとしている。 						5
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取っている。 説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に読書を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取る。 説話から良秀の詩的な言動を読み取り、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 主として品詞の種類について、文語のきまりを理解する。 教材…絵師良秀 一人1台端末の活用 等 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識及び技能】 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取っている。 説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に読書を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えようとしている。 						5
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞の仕方を理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 短歌の形式や表現を鑑賞し、学習の見通しをもって短歌文芸に親しむ。 作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のもの見方、感じ方を積極的に豊かにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 古典の文章に慣れるとともに、古文における人物同士の関係性や人物造形のおもしろさを読み取る。 我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞の仕方を理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。 作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 我が国の言語文化に特徴的な、短歌の表現の技法とその効果について理解する。 教材…大江山 一人1台端末の活用 等 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞の仕方を理解し、近代を代表する歌人の作品を味わっている。 【学びに向かう力、人間性等】 短歌の形式や表現を鑑賞し、学習の見通しをもって短歌文芸に親しもうとしている。 作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のもの見方、感じ方を積極的に豊かにしようとしている。 						6
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 古典の世界に親しむために、古典を調べるために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文を調べるための基礎知識として、返り点の種類と読み方を習得する。 我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 漢文を調べるための基礎知識として、返り点の種類と読み方を習得する。 漢文を調べるための基礎知識として、助字のはたらきと読み方を習得する。 漢文を調べるための基礎知識として、再読文字の種類と読み方を習得する。 故事成語や格言に多く触れることにより、語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 訓読のきまりを理解する。 教材 訓読の基本 一人1台端末の活用 等 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 古典の世界に親しむために、古典を調べるために必要な訓読のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文を調べるための基礎知識として、返り点の種類と読み方、助字のはたらきと意味、再読文字の種類と読み方を習得する。 【学びに向かう力、人間性等】 これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につける。 						6
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 古典特有の世界観に慣れるとともに、鎌倉時代に作られた随筆が現代まで継承されていることを知る。 随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 古語辞典の引き方に慣れ、主として活用について、文語のきまりを理解する。 教材…丹波に出雲といふ所あり 一人1台端末の活用 等 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 古典特有の世界観に慣れるとともに、鎌倉時代に作られた随筆が現代まで継承されていることを知る。 随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 古語辞典の引き方に慣れ、主として活用について、文語のきまりを理解する。 教材…丹波に出雲といふ所あり 一人1台端末の活用 等 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識及び技能】 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取っている。 随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に読書を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えようとしている。 						6
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 古典特有の世界観に慣れるとともに、和歌という文章の種類を踏まえて、修辭法や内容を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 和歌に積極的に親しみ、学習課題に沿って筆者の物の見方を捉える。 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 【学びに向かう力、人間性等】 用言の活用について理解し、学習の見通しをもって活用形を調べ、筆者の考え方が表れている語を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 古典特有の世界観に慣れるとともに、和歌が持つ魅力が現代まで継承されていることを知る。 和歌という文章の種類を踏まえて、修辭法や内容を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 古語辞典の引き方に慣れ、主として活用について、文語のきまりを理解する。 教材…古今和歌集 一人1台端末の活用 等 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識及び技能】 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の文章に慣れるとともに、和歌という文章の種類を踏まえて、修辭法や内容を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に和歌を理解し、短い表現で巧みに表現された世界観への興味を捉えようとしている。 						6
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 古典特有の世界観に慣れるとともに、鎌倉時代に記された随筆が現代まで継承されていることを把握する。 随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 随筆に積極的に親しみ、学習課題に沿って筆者の物の見方を捉える。 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 【学びに向かう力、人間性等】 用言の活用について理解し、学習の見通しをもって活用形を調べ、筆者の考え方が表れている語を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 古典特有の世界観に慣れるとともに、鎌倉時代に記された随筆が現代まで継承されていることを知る。 随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 古語辞典の引き方に慣れ、主として活用について、文語のきまりを理解する。 教材…ゆく河の流れ 一人1台端末の活用 等 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識及び技能】 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取っている。 随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に読書を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えようとしている。 						5
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 古典特有の世界観に慣れるとともに、鎌倉時代に記された随筆が現代まで継承されていることを把握する。 随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 随筆に積極的に親しみ、学習課題に沿って筆者の物の見方を捉える。 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 【学びに向かう力、人間性等】 用言の活用について理解し、学習の見通しをもって活用形を調べ、筆者の考え方が表れている語を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 古典特有の世界観に慣れるとともに、鎌倉時代に記された随筆が現代まで継承されていることを知る。 随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 古語辞典の引き方に慣れ、主として活用について、文語のきまりを理解する。 教材…ゆく河の流れ 一人1台端末の活用 等 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識及び技能】 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取っている。 随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に読書を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えようとしている。 						1
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 古典特有の世界観に慣れるとともに、鎌倉時代に記された随筆が現代まで継承されていることを把握する。 随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 随筆に積極的に親しみ、学習課題に沿って筆者の物の見方を捉える。 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 【学びに向かう力、人間性等】 用言の活用について理解し、学習の見通しをもって活用形を調べ、筆者の考え方が表れている語を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 古典特有の世界観に慣れるとともに、鎌倉時代に記された随筆が現代まで継承されていることを知る。 随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 古語辞典の引き方に慣れ、主として活用について、文語のきまりを理解する。 教材…ゆく河の流れ 一人1台端末の活用 等 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識及び技能】 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取っている。 随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に読書を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えようとしている。 						1

武蔵野北高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科：地理歴史 科目：地理総合

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 地理総合（東京書籍）、新詳地理資料 Complete 2026（帝国書院）、新高等地図（帝国書院） ）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 幅広い分野の視点を身につけ現代世界を多角的に俯瞰させる。

【思考力、判断力、表現力等】 各分野の見方・考え方を習得させ、現代世界を多角的に考察させる。

【学びに向かう力、人間性等】 学習内容を自分のキャリア選択に生かさせる。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
内容知として、①現代世界に関する地理的教養、②自然と産業に関する専門的教養、③防災に関する実践的教養を身につける。	方法知として地理の見方考え方としてのMulti-scale geographyの考え方を習得させる。	forms活用の予習・復習を確実にを行い学習習慣を身に着けるとともに、授業内容を将来の自分のキャリア選択に生かさせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
				知	思	態	
1 学 期	A 単元 地図やGISの活用 【知識及び技能】 客観的説明図式による調査法の理解 【思考力、判断力、表現力等】 主題図読図・GISの活用 【学びに向かう力、人間性等】	・geographyと地理 ・地下鉄の駅の法則 ・雪国の電話ボックスの法則 ・forms活用の予復習	【知識・技能】 客観的説明図式が理解できる 【思考・判断・表現】 主題図の読図ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 予復習を消化する	○	○	○	6
	B 単元 私たちが暮らす地球 【知識及び技能】 位置、公転と季節、自転と時差、日付変更 【思考力、判断力、表現力等】 時差計算 【学びに向かう力、人間性等】 予復習の習慣化	緯度と経度 公転と季節 自転と時差 日付変更線をめぐって 五輪、初日の出、JFK forms活用の予復習	【知識・技能】 自転と時差、公転と季節の関係を理解する 【思考・判断・表現】 時差と日付の計算を行える 【主体的に学習に取り組む態度】 予復習を継続する	○	○	○	8
	中間考査			○	○		1
	C 単元 生活文化と自然環境①地 【知識及び技能】 大陸移動説と地球環境を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 プレートテクトニクスの理解 ブルームテクトニクスの理解 【学びに向かう力、人間性等】 予復習の習慣化	大陸は移動する？ プレートテクトニクス ブルームテクトニクス	【知識・技能】 大陸移動説の変遷を理解する プレートテクトニクスから大地形を説明す 【思考・判断・表現】 プレートテクトニクスで説明できないこと ブルームテクトニクスで説明できることを理解する	○	○	○	8
期末考査			○	○		1	
2 学 期	D 単元 生活文化と自然環境②気 【知識及び技能】 気候区分を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 雨温図を判定できる 【学びに向かう力、人間性等】 予復習の習慣化	ケッペンの気候区分 アリソフの気候区分 大気循環と海流 雨温図の攻略法	【知識・技能】 ケッペンとアリソフの違いを理解する 【思考・判断・表現】 雨温図を判定できる 【主体的に学習に取り組む態度】 予復習を継続する	○	○	○	8
	E 単元 自然環境と防災 【知識及び技能】 本校周辺の地形を総合的に理解す 【思考力、判断力、表現力等】 実践的防災知識を獲得する 【学びに向かう力、人間性等】 自宅の防災を考える	Multi-scale geographyとは何か Multi-scaleにみた本校周辺の地形 大地形から見た本校周辺の地形 中地形から見た本校周辺の地形 小地形から見た本校周辺の地形 地震防災を考える	【知識・技能】 multi-scaleな地形の知識を整理・習得する 【思考・判断・表現】 地震に関する実践的知識を活用する 【主体的に学習に取り組む態度】 自宅の防災対策を考える	○	○	○	8
	中間考査			○	○		1
	F 単元 生活文化と産業 【知識及び技能】 産業立地を考えキャリア意識を高 【思考力、判断力、表現力等】 各種の産業立地論を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 forms活用の予復習の習慣化	産業構造の高度化 ホイットルシーの農業地域 チューネンの農業立地論 ウェーバーの工業立地論 クリスタラーの中心地理論 コンビニの立地	【知識・技能】 各立地論の特徴を理解する 【思考・判断・表現】 各立地論の共通テストレベルの問題を解く 【主体的に学習に取り組む態度】 自分のキャリア検討に役立てる	○	○	○	8
期末考査			○	○		1	
3 学 期	G 様々な地球的課題と国際協力 【知識及び技能】 SDG s 実現のための知識を獲得する 【思考力、判断力、表現力等】 各種統計資料の読み方を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 SDG s 実現のための行動力を身につけ	情報化消費化社会とは 資源問題 エネルギー問題 人口問題 都市問題 食料問題 環境問題 Multi-scaleからみたアフリカの飢 ソーシャルビジネスとは	【知識・技能】 グローバル・イシューズの構造を理解させる 【思考・判断・表現】 各種統計の構造を読み取る能力を身につける 【主体的に学習に取り組む態度】 SDG s 実現のための社会参画を考えさせる	○	○	○	19
	期末考査			○	○		1
合計							70

武蔵野北高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科： 地理歴史 科目： 歴史総合 単位数 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 明解 歴史総合 帝国書院 ）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史に関して理解し、効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史に関しての意義、特色や相互の関連を考察したり、社会の課題の解決に向け構想する力や説明する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史に関する事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	近現代の歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会の課題の解決に向け構想や説明、議論する力を養う。	世界の近現代の歴史に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立と明治維新 【知識及び技能】 ・ヨーロッパ諸国が重商主義で経済を発展させたことを踏まえ、世界の一体化と日本の開国との関係性について理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・開国によって世界と結びついたことによる江戸幕府や諸藩における知識・技術の受容と、日本と欧米諸国とのあいだの貿易の特徴を考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・産業革命を経て世界の動向と幕末の動乱と欧米諸国との関係について、事件を整理しながら追究しようとしている。	指導事項 ・ヨーロッパ経済の動向と産業革命 ・アメリカ独立革命とフランス革命 ・西アジアの変容と南アジア・東南アジアの植民地化 ・中国の開港と日本の開国 ・明治維新と諸改革 ・自由民権運動と立憲体制 ・明治期の外交 教材 教科書、資料集、プリント等	【知識・技能】 世界の一体化と諸制度の変容から近代化と明治維新について理解できたか。 【思考・判断・表現】 明治時代の歴史に関して事象の意義、特色や相互の関連を考察したり、議論する力が身に付くことができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 明治時代の歴史に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度が身に付いたか。	○	○	○	6
	A 単元 帝国主義の展開とアジア 【知識及び技能】 帝国主義時代の歴史に関して理解し、効果的に調べまとめる技能が身に付く。 【思考力、判断力、表現力等】 帝国主義時代の歴史に関わる事象の意義、特色や相互の関連を考察したり、議論する力が身に付く。 【学びに向かう力、人間性等】 帝国主義時代の歴史に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。	指導事項 ・帝国主義と列強の対立 ・世界分割と列強の対立 ・条約改正と日清戦争 ・日露戦争とその影響 教材 教科書、資料集、プリント等	【知識・技能】 帝国主義時代の歴史に関して理解し、効果的に調べまとめる技能が身に付くことができたか。 【思考・判断・表現】 帝国主義時代の歴史に関して事象の意義、特色や相互の関連を考察したり、議論する力が身に付くことができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 帝国主義時代の歴史に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度が身に付いたか。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	B 単元 第一次世界大戦と大衆社会 【知識及び技能】 第一次大戦前後の歴史に関して理解し、効果的に調べまとめる技能が身に付く。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次大戦前後の歴史に関わる事象の意義、社会の課題の解決に向け構想や説明、議論する力が身に付く。 【学びに向かう力、人間性等】 第一次大戦前後の歴史に関わる事象の意義、特色や相互の関連を考察したり、社会の課題の解決に向け構想や説明、議論する力が身に付く。	指導事項 ・第一次大戦とロシア革命 ・国際平和と安全保障 ・アジアアフリカ地域の民族運動 ・大衆消費社会と市民生活の変容 ・社会労働運動の進展と大衆の政治参加 教材 教科書、資料集、プリント等	【知識・技能】 第一次世界大戦の歴史に関して理解し、効果的に調べまとめる技能が身に付くことができたか。 【思考・判断・表現】 第一次世界大戦時代の歴史に関して事象の意義、社会の課題の解決に向け構想や説明、議論する力が身に付くことができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 第一次世界大戦時代の歴史に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度が身に付いたか。	○	○	○	11
定期考査			○	○		1	

武蔵野北高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

数学

科目 数学 I

教科： 数学

科目： 数学 I

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書： （ 改訂版 数学 I（数研出版） ）

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し数学的に表現・処理する技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	問題を的確に数学的に表現し数理的に考察、過程や結論を批判的に判断する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】	数学の活用、数学的論拠に基づく判断、問題解決の考察を深め評価・改善する態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数、データの分析を通して基本概念・原理・法則を体系的に理解し事象を数学化し、数学的解釈・表現・処理することのできる技能を身につける。	命題や条件に着目し、数や式を多面的にみて目的に応じた変形をする力、図形の性質、計量を論理的に考察し表現する力、関数関係を的確に表現する力、データを適切な手法で分析する力で問題を解決し、過程や結論を批判的に考察し判断する力を身につける。	よさを認識し活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 数と式 【知識及び技能】 (1)数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算を身に着ける。 (2)2次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深める。 (3)不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、1次不等式の解を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 (1)問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 (2)不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察することができる。 (3)日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、1次不等式を解く方法を考察することができる。 (4)問題解決に活用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 式の計算 実数 1次不等式 ・教材 教科書 補助教材 プリント ・一人1台端末の活用 解説動画の活用	【知識・技能】 (1)数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算を身に付いたか。 (2)2次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深められたか。 (3)不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、1次不等式の解を求めることができるか。 【思考・判断・表現】 (1)問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができるか。 (2)不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察することができるか。 (3)日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、1次不等式を解く方法を考察することができるか。 (4)問題解決に活用することができるか。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養っているか。	○	○	○	17
	第2章 集合と命題 【知識及び技能】 基本概念・原理・法則を体系的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 集合 命題 ・教材 教科書 補助教材 プリント ・一人1台端末の活用 解説動画の活用	【知識・技能】 基本概念・原理・法則を体系的に理解させる。 【思考・判断・表現】 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明することができるか。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養っているか。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	第3章 2次関数 【知識及び技能】 (1)2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解する。 (2)2次関数の最大値や最小値を求めることができる。 (3)2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 (1)2次関数の式とグラフとの関係について、多面的に考察することができる。 (2)2つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 2次関数とグラフ 2次関数の値の変化 ・教材 教科書 補助教材 プリント ・一人1台端末の活用 解説動画の活用	【知識・技能】 (1)2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解できたか。 (2)2次関数の最大値や最小値を求めることができるか。 (3)2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解できたか。 【思考・判断・表現】 (1)2次関数の式とグラフとの関係について、多面的に考察することができるか。 (2)2つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができるか。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養っているか。	○	○	○	22
定期考査			○	○		1	

2 学 期	第3章 2次関数 【知識及び技能】 2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 2次不等式を多面的にみて目的に応じた変形をすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 2次方程式と2次不等式 ・教材 教科書 補助教材 プリント ・一人1台端末の活用 解説動画の活用	【知識・技能】 2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができるか。 【思考・判断・表現】 2次不等式を多面的にみて目的に応じた変形をすることができるか。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養っているか。	○	○	○	16
	第4章 図形と計量 【知識及び技能】 (1)鋭角の三角比の意味と相互関係について理解する。 (2)三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解する。 (3)正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くことができる。 図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 三角比 ・教材 教科書 補助教材 プリント ・一人1台端末の活用 解説動画の活用	【知識・技能】 (1)鋭角の三角比の意味と相互関係について理解しているか。 (2)三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解しているか。 (3)正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができるか。 【思考・判断・表現】 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くことができるか。 図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができるか。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養っているか。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	第4章 図形と計量 空間図形の考察 【知識及び技能】 図形と計量について表現・処理することのできる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 図形と計量を多面的にみて目的に応じた変形をすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 三角比の応用 ・教材 教科書 補助教材 プリント ・一人1台端末の活用 解説動画の活用	空間図形の考察 【知識・技能】 図形と計量について表現・処理することのできる技能を身につけられたか。 【思考・判断・表現】 図形と計量を多面的にみて目的に応じた変形をすることができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養えたか。	○	○	○	14
	第5章 データの分析 【知識及び技能】 (1)分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解する。 (2)コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりする。 (3)具体的な事象において仮説検定の考え方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 (1)データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察できる。 (2)目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現できる。 (3)不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 データの整理 データの代表値 データの散らばりと四分位数 分散と標準偏差 2つの変量間の関係 仮説検定の考え方 ・教材 教科書 補助教材 プリント ・一人1台端末の活用 解説動画の活用	【知識・技能】 (1)分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解できたか。 (2)コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができたか。 (3)具体的な事象において仮説検定の考え方を理解することができたか。 【思考・判断・表現】 (1)データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができるか。 (2)目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現できるか。 (3)不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりすることができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養っているか。	○	○	○	12
定期考査			○	○		1	
3 学 期	なし						合計 105

武蔵野北高等学校 令和8年度（1学年用）教科

数学 科目 数学A

教科：数学

科目：数学A

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年

1組～

6組

使用教科書：（改訂版 数学A（数研出版））

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し数学的に表現・処理する技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	問題を的確に数学的に表現し数理的に考察、過程や結論を批判的に判断する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】	数学の活用、数学的論拠に基づく判断、問題解決の考察を深め評価・改善する態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学A

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
場合の数と確率、整数の性質等の活用、図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力、図形の性質を見だし、論理的に考察する力を養う。	よさを認識し活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 【知識及び技能】 (1)和の法則、積の法則を利用して場合の数を求めることができる。 (2)起こりうる場合の数をもれなく重複なく数えることができる。 (3)順列の考えを理解し、場合の数を効率よく正確に求めるための基礎的な力を身につけている。 (4)起こりうる場合を整理し、順列の考えを用いて、場合の数を正確に求めることができる。 (5)順列の公式を用いて、場合の数を正確に求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 (1)和の法則、積の法則が場合の数を数えるときの元になっていることに気づくことができる。 (2)場合の数を考えるに当たって、順序を考えるか否かに気づくことができる。 (3)場合の数の考え方をを用いて適切に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 集合と要素の個数 場合の数 順列 ・教材 教科書 補助教材 プリント ・一人1台端末の活用 解説動画の活用	【知識・技能】 (1)和の法則、積の法則を利用して場合の数を求めることができるか。 (2)起こりうる場合の数をもれなく重複なく数えることができるか。 (3)順列の考えを理解し、場合の数を効率よく正確に求めるための基礎的な力を身につけているか。 (4)起こりうる場合を整理し、順列の考えを用いて、場合の数を正確に求めることができるか。 (5)順列の公式を用いて、場合の数を正確に求めることができるか。 【思考力、判断力、表現力等】 (1)和の法則、積の法則が場合の数を数えるときの元になっていることに気づくことができるか。 (2)場合の数を考えるに当たって、順序を考えるか否かに気づくことができるか。 (3)場合の数の考え方をを用いて適切に表現することができるか。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養えたか。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	第1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 (1)起こりうる場合の数をもれなく重複なく数えることができる。 (2)組合せの考えを理解し、場合の数を効率よく正確に求めるための基礎的な力を身につけているか。 (3)起こりうる場合を整理し、組合せの考えを用いて、場合の数を正確に求めることができるか。 (4)組合せの公式を用いて、場合の数を正確に求めることができるか。 【思考力、判断力、表現力等】 場合の数の考え方をを用いて適切に表現することができるか。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 組合せ 研究/重複を許して作る組合せ ・教材 教科書 補助教材 プリント ・一人1台端末の活用 解説動画の活用	【知識・技能】 (1)起こりうる場合の数をもれなく重複なく数えることができるか。 (2)組合せの考えを理解し、場合の数を効率よく正確に求めるための基礎的な力を身につけているか。 (3)起こりうる場合を整理し、組合せの考えを用いて、場合の数を正確に求めることができるか。 (4)組合せの公式を用いて、場合の数を正確に求めることができるか。 【思考・判断・表現】 場合の数の考え方をを用いて適切に表現することができるか。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養えたか。	○	○	○	11
定期考査			○	○		1	

<p>第1章 場合の数と確率 第2節 確率 【知識及び技能】 (1)場合の数を求め、これを用いて確率を計算する方法を理解し、具体的な事象の確率を求めるための基礎的な知識を身につけている。 (2)確率の基本性質を理解し活用する知識を身につけている。 (3)場合の数を求め、それを用いて確率を考えることができる。 (4)確率の基本性質を使って、和事象や余事象の確率を求めることができる。 (5)独立な試行と反復試行について理解し、基礎的な知識を身につけている。 (6)2つの独立な試行における2つの事象が同時に起こる確率を求めることができる。 (7)具体的な試行において独立な試行であることを見抜き、その事象の確率を求めることができる。 (8)反復試行の確率の公式を用いて、具体的な反復試行における確率を求めることができる。 (9)根元事象の個数に着目して、条件つき確率は、すべての根元事象の起こる確率が等しければ、場合の数の数え上げに帰着して考えられるという知識を身につけている。 (10)確率の乗法定理を用いて確率を求める具体的な問題を解決することができる。 (11)期待値の意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 (1)確率の基本性質を導く過程を考察することができる。 (2)2つの独立な試行における2つの事象が同時に起こる確率は、事象の確率の積になる。この公式を導く過程を考察することができる。 (3)反復試行の確率の公式を導く過程を考察することができる。 (4)条件つき確率は、すべての根元事象の起こる確率が等しければ、場合の数の数え上げに帰着して考えられることに気づく。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>・指導事項 事象と確率 確率の基本性質 独立な試行と確率 条件付き確率 研究/原因の確率 期待値 ・教材 教科書 補助教材 プリント ・一人1台端末の活用 解説動画の活用</p>	<p>【知識・技能】 (1)場合の数を求め、これを用いて確率を計算する方法を理解し、具体的な事象の確率を求めるための基礎的な知識を身につけているか。 (2)確率の基本性質を理解し活用する知識を身につけているか。 (3)場合の数を求め、それを用いて確率を考えることができるか。 (4)確率の基本性質を使って、和事象や余事象の確率を求めることができるか。 (5)独立な試行と反復試行について理解し、基礎的な知識を身につけているか。 (6)2つの独立な試行における2つの事象が同時に起こる確率を求めることができるか。 (7)具体的な試行において独立な試行であることを見抜き、その事象の確率を求めることができるか。 (8)反復試行の確率の公式を用いて、具体的な反復試行における確率を求めることができるか。 (9)根元事象の個数に着目して、条件つき確率は、すべての根元事象の起こる確率が等しければ、場合の数の数え上げに帰着して考えられるという知識を身につけているか。 (10)確率の乗法定理を用いて確率を求める具体的な問題を解決することができるか。 (11)期待値の意味を理解しているか。 【思考・判断・表現】 (1)確率の基本性質を導く過程を考察することができるか。 (2)2つの独立な試行における2つの事象が同時に起こる確率は、事象の確率の積になる。この公式を導く過程を考察することができるか。 (3)反復試行の確率の公式を導く過程を考察することができるか。 (4)条件つき確率は、すべての根元事象の起こる確率が等しければ、場合の数の数え上げに帰着して考えられることに気づくか。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うことができたか。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>12</p>
<p>定期考査</p>			<p>○ ○</p>	<p>1</p>
<p>第3章 数学と人間の活動 【知識及び技能】 (1)素因数分解から約数の個数や最大公約数や最小公倍数を求める方法を理解し、基礎的な知識を身につけている。 (2)素因数分解から約数の個数や最大公約数・最小公倍数を求めることができる。 (3)ある数の倍数を文字式で表現し、整数の性質を調べ、結果を解釈できる。 (4)ユークリッドの互除法は整数の除法の性質に基づいているという仕組みを理解し活用する知識を身につけている。 (5)ユークリッドの互除法を活用し$ax+by=1$の形の二元一次方程式の特殊解を求めるための知識を身につけている。 (6)ユークリッドの互除法を用いて2つの整数の最大公約数を求めることができる。 (7)2元1次方程式の整数解を求めることができる。 (8)n進法の表示や数の計算に関する知識を身につけている。 (9)部屋割り論法を用いた証明の方法を理解している。 (10)数を表す仕組みを理解し、n進法での表示や数の計算ができる。 (11)部屋割り論法を用いて整数の性質の証明することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 (1)素因数分解から約数の個数や最大公約数・最小公倍数の仕組みに気づく。 (2)整数の除法の性質からユークリッドの互除法の仕組みに気づく。 (3)2元1次方程式の特殊解を求める際に、ユークリッドの互除法が活用できることに気づく。 (4)循環小数の数の並びの規則に気づく。 (5)n進法の表示と数の計算について考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>・指導事項 約数と倍数 素数と素因数分解 最大公約数・最小公倍数 整数の割り算 ユークリッドの互除法 1次不定方程式 記数法 座標の考え方 ゲーム、パズルの中の数学 ・教材 教科書 補助教材 プリント ・一人1台端末の活用 解説動画の活用</p>	<p>【知識・技能】 (1)素因数分解から約数の個数や最大公約数や最小公倍数を求める方法を理解し、基礎的な知識を身につけているか。 (2)素因数分解から約数の個数や最大公約数・最小公倍数を求めることができるか。 (3)ある数の倍数を文字式で表現し、整数の性質を調べ、結果を解釈できるか。 (4)ユークリッドの互除法は整数の除法の性質に基づいているという仕組みを理解し活用する知識を身につけているか。 (5)ユークリッドの互除法を活用し$ax+by=1$の形の二元一次方程式の特殊解を求めるための知識を身につけているか。 (6)ユークリッドの互除法を用いて2つの整数の最大公約数を求めることができるか。 (7)2元1次方程式の整数解を求めることができるか。 (8)n進法の表示や数の計算に関する知識を身につけているか。 (9)部屋割り論法を用いた証明の方法を理解しているか。 (10)数を表す仕組みを理解し、n進法での表示や数の計算ができるか。 (11)部屋割り論法を用いて整数の性質の証明することができるか。 【思考・判断・表現】 (1)素因数分解から約数の個数や最大公約数・最小公倍数の仕組みに気づくか。 (2)整数の除法の性質からユークリッドの互除法の仕組みに気づくか。 (3)2元1次方程式の特殊解を求める際に、ユークリッドの互除法が活用できることに気づくか。 (4)循環小数の数の並びの規則に気づくか。 (5)n進法の表示と数の計算について考察することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養えたか。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>12</p>
<p>定期考査</p>			<p>○ ○</p>	<p>1</p>

3 学 期	<p>第2章 図形の性質 第1節 平面図形 第2節 空間図形</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>(1)三角形の角の2等分線と線分の比の間に成り立つ関係を適切な表現を用いて証明することができる。</p> <p>(2)三角形の特別な点の幾何学的な意味を理解し、基礎的な知識を身につけている。</p> <p>(3)三角形の特別な3つの線分が1点で交わることの証明ができる。</p> <p>(4)メネラウスの定理・チェバの定理を適切な表現を用いて証明することができる。</p> <p>(5)いろいろな円の性質を的確に表現し、円周角の定理とその逆を使って考察することができる。</p> <p>(6)いろいろな円の性質を適切な表現を用いて表現することができる。</p> <p>(7)直線や2平面の位置関係や直線と平面の位置関係、多面体などに関する基本的な性質を理解し基礎的な知識を身につけている。</p> <p>(8)正多面体の性質をもとに、体積を求めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>(1)平行な直線と線分の比について考察することができる。</p> <p>(2)三角形の角の2等分線や中線の果たす役割について考察することができる。</p> <p>(3)三角形の重心、内心、外心の幾何学的な意味をいろいろな方法で考察することができる。</p> <p>(4)メネラウスの定理・チェバの定理を導く過程を考察することができる。</p> <p>(5)円周角の定理とその逆について考察することができる。</p> <p>(6)円周角の定理とその逆を使っていろいろな円の性質が見出されることを考察することができる。</p> <p>(7)基本的な図形の性質から、作図のための方針を立て、その方法が正しいことや、作図したすべての点が条件を満たしていることを考察することができる。</p> <p>(8)三角形の基本的な性質などを用いて、空間図形のいろいろな性質を見出し、それらが成り立つ理由を論理的に考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>・指導事項</p> <p>三角形の辺の比 三角形の外心・内心・重心 チェバの定理 メネラウスの定理 円に内接する四角形 円と直線 2つの円 作図 直線と平面 空間図形と多面体</p> <p>・教材</p> <p>教科書 補助教材 プリント</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>解説動画の活用・指導事項</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>(1)三角形の角の2等分線と線分の比の間に成り立つ関係を適切な表現を用いて証明することができるか。</p> <p>(2)三角形の特別な点の幾何学的な意味を理解し、基礎的な知識を身につけているか。</p> <p>(3)三角形の特別な3つの線分が1点で交わることの証明ができるか。</p> <p>(4)メネラウスの定理・チェバの定理を適切な表現を用いて証明することができるか。</p> <p>(5)いろいろな円の性質を的確に表現し、円周角の定理とその逆を使って考察することができるか。</p> <p>(6)いろいろな円の性質を適切な表現を用いて表現することができるか。</p> <p>(7)直線や2平面の位置関係や直線と平面の位置関係、多面体などに関する基本的な性質を理解し基礎的な知識を身につけているか。</p> <p>(8)正多面体の性質をもとに、体積を求めることができるか。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>(1)平行な直線と線分の比について考察することができるか。</p> <p>(2)三角形の角の2等分線や中線の果たす役割について考察することができるか。</p> <p>(3)三角形の重心、内心、外心の幾何学的な意味をいろいろな方法で考察することができるか。</p> <p>(4)メネラウスの定理・チェバの定理を導く過程を考察することができるか。</p> <p>(5)円周角の定理とその逆について考察することができるか。</p> <p>(6)円周角の定理とその逆を使っていろいろな円の性質が見出されることを考察することができるか。</p> <p>(7)基本的な図形の性質から、作図のための方針を立て、その方法が正しいことや、作図したすべての点が条件を満たしていることを考察することができるか。</p> <p>(8)三角形の基本的な性質などを用いて、空間図形のいろいろな性質を見出し、それらが成り立つ理由を論理的に考察することができるか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養えたか。</p>	○	○	○	19
	定期考査				○	○	
							合計
							70

武蔵野北 高等学校 令和8年度(1学年用)教科 理科 科目 化学基礎

教科：理科 科目：化学基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：(啓林館 i 版 化学基礎)

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

1 学 期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
	単元：化学と物質 【知識及び技能】純物質と混合物の違い、分離精製について理解し、元素検出法や単体化合物の違い、熱運動と物質の三態についてわかる。 【思考力、判断力、表現力等】混合物の分離や元素の検出、三態変化について、判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。	・指導事項 混合物の分離 元素と単体・化合物 熱運動と物質の三態 ・教材 教科書・プリント・レポート・小テスト ・ICT・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】純物質と混合物の違い、分離精製について理解し、元素検出法や単体化合物の違い、熱運動と物質の三態についてわかる。 【思考力、判断力、表現力等】混合物の分離についてや元素の検出、三態変化について、判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。	○	○	○	4
	単元：物質の構成粒子 【知識及び技能】原子の構造や電子配置、イオンの生成、周期表について理解し、電子配置とイオン生成の関係についてわかる。 【思考力、判断力、表現力等】原子の構造と構成粒子と元素の関係や、電子配置とイオン生成の関係が判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。	・指導事項 原子の構造と同位体 電子配置と周期表 イオンの生成とエネルギー ・教材 教科書・プリント・レポート・小テスト ・ICT・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】原子の構造や電子配置、イオンの生成、周期表について理解し、電子配置とイオン生成の関係についてわかる。 【思考力、判断力、表現力等】原子の構造と構成粒子と元素の関係や、電子配置とイオン生成の関係が判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	単元：化学結合 イオン結合とその性質 共有結合と分子 【知識及び技能】イオン結合の仕組みとその性質、共有結合と分子について理解し、イオン結合と共有結合の違いについてわかる。 【思考力、判断力、表現力等】イオン結合と共有結合の違いについて、判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。	・指導事項 イオン結合 イオン結晶とその性質 共有結合と分子 ・教材 教科書・プリント・レポート・小テスト ・ICT・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】イオン結合の仕組みとその性質、共有結合と分子について理解し、イオン結合と共有結合の違いについてわかる。 【思考力、判断力、表現力等】イオン結合と共有結合の違いについて説明し、判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。	○	○	○	4
	配位結合 電気陰性度と極性 【知識及び技能】配位結合の仕組みや電気陰性度と極性の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】配位結合の仕組みを説明し、電気陰性度から極性の有無を判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。	・指導事項 配位結合 電気陰性度と極性 ・教材 教科書・プリント・レポート・小テスト ・ICT・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】配位結合の仕組みや電気陰性度と極性の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】配位結合の仕組みを説明し、電気陰性度から極性の有無を判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。	○	○	○	2
	共有結合の結晶 金属結合 結晶の分類 【知識及び技能】共有結合の結晶、金属結合の結晶について理解し、4種類の結晶の違いについてわかる。 【思考力、判断力、表現力等】共有結合の結晶、金属結合の結晶について説明し、4種類の結晶の分類を判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。	・指導事項 共有結合の結晶 金属結合 結晶の分類 ・教材 教科書・プリント・レポート・小テスト ・ICT・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】共有結合の結晶、金属結合の結晶について理解し、4種類の結晶の違いについてわかる。 【思考力、判断力、表現力等】共有結合の結晶、金属結合の結晶について説明し、4種類の結晶の分類を判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。	○	○	○	2
	単元：物質と化学反応式 原子量・分子量・式量 物質と質量・気体の体積 【知識及び技能】原子量・分子量・式量の意味を理解し、物質と質量・気体の体積の関係がわかる。 【思考力、判断力、表現力等】原子量・分子量・式量について説明し、物質と質量・気体の体積の関係から物質と質量・気体の体積を導くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。	・指導事項 原子量・分子量・式量 物質と質量・気体の体積 ・教材 教科書・プリント・レポート・小テスト ・ICT・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】原子量・分子量・式量の意味を理解し、物質と質量・気体の体積の関係がわかる。 【思考力、判断力、表現力等】原子量・分子量・式量について説明し、物質と質量・気体の体積の関係から物質と質量・気体の体積を導くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>溶液と濃度</p> <p>【知識及び技能】溶液と濃度について理解し、溶液の調製方法についてわかる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】溶液の調製について説明し、濃度から物質質量や質量等を導くことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。</p>	<p>・指導事項 溶液と濃度</p> <p>・教材 教科書・プリント・レポート・小テスト</p> <p>・ICT・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】溶液と濃度について理解し、溶液の調製方法についてわかる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】溶液の調製について説明し、濃度から物質質量や質量等を導くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。</p>	○	○	○	3
	<p>化学反応式 化学変化の量的関係</p> <p>【知識及び技能】化学反応式について理解し、化学変化の量的関係についてわかる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】化学変化を化学反応式で表し説明し、反応式から物質質量や質量・気体の体積等を導くことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。</p>	<p>・指導事項 化学反応式 化学変化の量的関係</p> <p>・教材 教科書・プリント・レポート・小テスト</p> <p>・ICT・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】化学反応式について理解し、化学変化の量的関係についてわかる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】化学変化を化学反応式で表し説明し、反応式から物質質量や質量・気体の体積等を導くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。</p>	○	○	○	4
	<p>単元：酸と塩基</p> <p>酸と塩基の定義 水溶液のpH</p> <p>【知識及び技能】酸と塩基の定義、水素イオン濃度とpHについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】酸と塩基の定義や電離度から水素イオン濃度、pHを説明し導くことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。</p>	<p>・指導事項 酸と塩基の定義 電離度 水溶液のpH</p> <p>・教材 教科書・プリント・レポート・小テスト</p> <p>・ICT・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】酸と塩基の定義、水素イオン濃度とpHについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】酸と塩基の定義や電離度から水素イオン濃度、pHを説明し導くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。</p>	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	<p>中和と塩 中和反応の量的関係</p> <p>【知識及び技能】中和反応と塩の性質の関係や中和反応の量的関係について理解し、中和と塩の操作を理解し身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】塩の性質や中和と塩の操作について説明し、量的関係から溶液の濃度などを導くことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。</p>	<p>・指導事項 中和と塩 中和反応の量的関係</p> <p>・教材 教科書・プリント・レポート・小テスト</p> <p>・ICT・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】中和反応と塩の性質の関係や中和反応の量的関係について理解し、中和と塩の操作を理解し身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】塩の性質や中和と塩の操作について説明し、中和反応の量的関係から溶液の濃度などを導くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。</p>	○	○	○	6
	<p>単元：酸化還元反応</p> <p>酸化還元反応の定義と酸化数</p> <p>【知識及び技能】酸化還元反応の定義と酸化数について理解し、電子の出入りと酸化数の関係についてわかる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】酸化還元反応を酸化数と電子の出入りで説明し、酸化剤・還元剤を判断できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。</p>	<p>・指導事項 酸化還元反応の定義 酸化数 酸化剤と還元剤</p> <p>・教材 教科書・プリント・レポート・小テスト</p> <p>・ICT・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】酸化還元反応の定義と酸化数について理解し、電子の出入りと酸化数の関係についてわかる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】酸化還元反応を酸化数と電子の出入りで説明し、酸化剤・還元剤を判断できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。</p>	○	○	○	5
定期考査			○	○		1	
3 学 期	<p>イオン化傾向と金属の反応</p> <p>【知識及び技能】金属のイオン化傾向の違いによる反応性や金属の精錬について理解し、金属の反応性の違いがわかる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】金属のイオン化傾向から金属の反応や精錬方法を説明し、金属の反応を考えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。</p>	<p>・指導事項 イオン化傾向 金属の酸化還元反応</p> <p>・教材 教科書・プリント・レポート・小テスト</p> <p>・ICT・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】金属のイオン化傾向の違いによる反応性や金属の精錬について理解し、金属の反応性の違いがわかる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】金属のイオン化傾向から金属の反応や精錬方法を説明し、金属の反応を考えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。</p>	○	○	○	7
	<p>酸化還元の利用(電池・電気分解)</p> <p>【知識及び技能】金属のイオン化傾向から電池や電気分解の仕組みについて理解し、各電極の反応がわかる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】金属のイオン化傾向から電池の起電力の違いや電池・電気分解の各電極の反応を考えて説明できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。</p>	<p>・指導事項 酸化還元の利用(電池・電気分解)</p> <p>・教材 教科書・プリント・レポート・小テスト</p> <p>・ICT・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】金属のイオン化傾向から電池や電気分解の仕組みについて理解し、各電極の反応がわかる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】金属のイオン化傾向から電池の起電力の違いや電池・電気分解の各電極の反応を考えて説明できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。</p>	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
						合計	
						70	

武蔵野北高等学校 令和8年度（1学年） 教科 理科 科目 生物基礎

教科：理科 科目：生物基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

使用教科書：（啓林館 i版 生物基礎）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1編 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通性 【知識及び技能】生物の基本的な特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】地球上で生活する生物の多様性は、進化の結果生じたものであることを考える。 【学びに向かう力、人間性等】相同器官を比較し共通祖先から由来した生物は共通の特徴をもつことを見いだす。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】生物の基本的な特徴を理解している。 【思考・判断・表現】地球上で生活する生物の多様性は、進化の結果生じたものであることを説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】相同器官を比較し共通祖先から由来した生物は共通の特徴をもつことを見いだすことができるなど、生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする。	○	○	○	5
	1編 生物の特徴 2章 生物とエネルギー 【知識及び技能】真核細胞と原核細胞の構造について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】単細胞生物と多細胞生物について理解し、生物の細胞はどのように生命を維持しているのか考える。 【学びに向かう力、人間性等】ウイルスが非生物として扱われている理由について考える。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】真核細胞と原核細胞の構造について理解している。 【思考・判断・表現】単細胞生物と多細胞生物について理解し、生物の細胞はどのように生命を維持しているのか説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	生体とATP・生体内の化学反応 呼吸と光合成 【知識及び技能】ATPが呼吸や光合成などの生体内でのエネルギーの受け渡しに必ず関係していることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】生物が、同化によってエネルギーを蓄え、異化によってエネルギーをとり出していることについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】ATPを利用した衛生管理など、ATPを利用した技術があることを知る。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】ATPが呼吸や光合成などの生体内でのエネルギーの受け渡しに必ず関係していることを理解している。 【思考・判断・表現】生物が、同化によってエネルギーを蓄え、異化によってエネルギーをとり出していることを説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする。	○	○	○	6
	4編 生物の多様性と生態系 1章 植生と遷移 【知識及び技能】環境要因と環境形成作用の関係についてや森林の階層構造と光環境の関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】植生遷移がどのような条件で進行するのか考える。 【学びに向かう力、人間性等】火山島の溶岩流跡地の変遷など、植生は時間とともに変化することについて考える。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】環境要因と環境形成作用の関係についてや森林の階層構造と光環境の関係について理解している。 【思考・判断・表現】植生遷移は土壌や光環境という条件で進行することを説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1	

武蔵野北 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育 女子

教科：保健体育 科目：体育 女子 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 大修館書店 新高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 女子 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	相当 時数
1 学 期	<p>A 単元「体づくり運動」</p> <p>【知識及び技能】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解する。自己の体力や生活に応じた継続的な運動について、実生活に活かす計画を立てる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と主体的に関わり合う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することが出来る。</p>	<p>・指導事項 準備体操 ストレッチ トレーニング 簡易ダンス ペア運動</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることについて、言ったり書き出したりしている。 ・運動を安全に行うには、関節への負荷がかかりすぎないようにすることや軽い運動から始めるなど、徐々に筋肉を温めてから行うことについて、言ったり書き出したりしている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定している。 ・健康や安全を確保するために、体力や体調に応じた運動の計画等について振り返っている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い教え合おうとしている。 				5
	<p>B 単元「バスケットボール」</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 ボール慣れ ドリブル パス シュート レイアップシュート ストッブシュート 簡易ゲーム</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わう ・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間の侵入などから攻防をする <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボールに主体的に取り組もうとしている ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている ・互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。 				6
	<p>C 単元「陸上競技」</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができるようにする。 短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡しで次走者のスピードを十分高めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組み、ルールやマナーを大切にすることや一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にすることなどに意欲をもち、健康や安全を確保することができるようにする。</p>	<p>・指導事項 短距離走 ハードル リレー</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わう ・中間走の高いスピードを維持して速く走る、バトンの受け渡しで次走者と前走者の距離を長くする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技の学習に自主的に取り組もうとしている ・勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている 				6

<p>D 単元「水泳」</p> <p>【知識及び技能】 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。 ア クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 イ 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 水慣れ けのび バタ足 クロール 平泳ぎ スタートの仕方</p> <p>・教材 一人1台端末の活用等</p>	<p>【知識・技能】 ・自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐ クロールでは手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作を安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 ・水泳に積極的に取り組もうとしている ・勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている ・水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配る</p>	○	○	○	9
<p>C 単元「陸上競技」</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができるようにする。スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶこと、走り高跳びでは、リズムカルな助走から力強く踏み切り滑らかな空間動作で跳ぶこと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 走り幅跳び 投てき</p>	<p>【知識・技能】 ・記録の向上や競争及び事故や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わう ・スピードに乗った助走と力強い踏み切りから着地までの動きを滑らかにして跳ぶ、短い助走から前方にまっすぐ投げなどの技能を身につける</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 ・陸上競技の学習に自主的に取り組もうとしている ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている ・健康・安全を確保している</p>	○	○	○	6
<p>B 単元「バスケットボール」</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするなど、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 ボール慣れ ドリブル パス シュート レイアップシュート ト ストップシュート 簡易ゲーム</p>	<p>【知識・技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わう ・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間の侵入などから攻防をする</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 ・バスケットボールに主体的に取り組もうとしている ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている ・互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。</p>	○	○	○	6
<p>C 単元「マット運動」</p> <p>【知識及び技能】 多様な楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを理解するとともに、自己に適した技で演技。回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、よい演技を讃えようとする、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 柔軟 前転・後転 開脚前転・開脚後転 伸膝前転・伸膝後転 三点倒立・倒立前転 連続技</p>	<p>【知識・技能】 ・技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを理解する ・自己に適した技で演技する 回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと ・条件を変えた技や発展技を行う</p> <p>【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 ・マット運動に主体的に取り組もうとしている ・練習を見合ったり仲間に助言したりして、互いに助け合い高め合おうとしている ・健康・安全を確保している</p>	○	○	○	8

2
学期

	<p>B 単元「アルティメット」</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方などを理解するとともに、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と仲間と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 ディスク慣れ スロー キャッチ 簡易ゲーム</p>	<p>【知識・技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わう。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解する</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ・作戦などについて話し合いに貢献しようとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>C 単元「陸上競技」</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができるようにする。 長距離走では、自己に適したペースを維持して走る。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 長距離走 シャトルラン ポイント走 時間走 距離走</p>	<p>【知識・技能】 ・記録の向上や競争及び事故や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わう ・走り方や呼吸法などを意識しペースの変化に対応して走るなどの技能を身につける</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている ・健康・安全を確保している</p>	○	○	○	10
3 学 期	<p>A 単元「体づくり運動」</p> <p>【知識及び技能】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解する。自己の体力や生活に応じた継続的な運動について、実生活に活かす計画を立てる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と主体的に関わり合う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することが出来る。</p>	<p>・指導事項 体力を高める運動 体ほぐしの運動 柔軟運動 ペア運動</p>	<p>【知識・技能】 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わう ・心と体が互いに影響し変化することや心身の状態に気付く</p> <p>【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かにし継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・互いに助け合い高めあおうとする ・一人ひとりの違いに応じた動きなどを大切にしようとする 合意形成に貢献しようとする</p>	○	○	○	3
	<p>C 単元「体育理論」</p> <p>【知識及び技能】 スポーツから得られる恵恩とスポーツについての課題の双方から、多角的に思考し判断し表現する学習を通して、個人がスポーツ文化を創造する主体となっていることに気付くこと</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 イ スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ウ スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。</p>	<p>・指導事項 (ア) スポーツの歴史的発展と多様な変化 (イ) 現代のスポーツの意義や価値 (ウ) スポーツの経済的効果と高潔さ (エ) スポーツが環境や社会にもたらす影響</p> <p>・教材 保健教科書</p>	<p>【知識・技能】 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解する ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解する</p> <p>【思考・判断・表現】 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学習に主体的に取り組む ・豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習を主体的に取り組む</p>	○	○	○	3
							合計
							70

武蔵野北高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育 男子

教科：保健体育 科目：体育 男子 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～ 6組

使用教科書：（大修館書店 新高等保健体育）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 男子 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 単元「体づくり運動」</p> <p>【知識及び技能】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解する。自己の体力や生活に応じた継続的な運動について、実生活に活かす計画を立てる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気づき、仲間と主体的に関わり合う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することが出来る。</p>	<p>・指導事項 ラジオ体操 ストレッチ トレーニング 簡易ダンス ペア運動</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることについて、言ったり書き出したりしている。 運動を安全に行うには、関節への負荷がかかりすぎないようにすることや軽い運動から始めるなど、徐々に筋肉を温めてから行うことについて、言ったり書き出したりしている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定している。 健康や安全を確保するために、体力や体調に応じた運動の計画等について振り返っている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体づくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。 仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い教え合おうとしている。 	○	○	○	5
<p>B 単元「バスケットボール」</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。</p> <p>安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとするなど、作戦などについての話合いに貢献しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするなど、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 ボール慣れ ドリブル パス シュート レイアップシュート ストップシュート 簡易ゲーム</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わう 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間の侵入などから攻防をする <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> バスケットボールに主体的に取り組もうとしている 相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている 互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。 	○	○	○	6

1 学期	<p>C 単元「陸上競技」</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができるようにする。 短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡しで次走者のスピードを十分高めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組み、ルールやマナーを大切にすることや一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にすることなどに意欲をもち、健康や安全を確保することができるようにする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>短距離走 ハードル リレー</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わう ・中間走の高いスピードを維持して速く走る、バトンの受け渡しで次走者と前走者の距離を長くする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的。計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技の学習に自主的に取り組もうとしている ・勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている 				6
	<p>D 単元「水泳」</p> <p>【知識及び技能】 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。 ア クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 イ 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項</p> <p>水慣れ けのび バタ足 クロール 平泳ぎ スタートの仕方</p> <p>・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐ ・クロールでは手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする ・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作を安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的。計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水泳に積極的に取り組もうとしている ・勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている ・水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配る 				9
2	<p>B 単元「バスケットボール」</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項</p> <p>ボール慣れ ドリブル パス シュート レイアップシュート ストップシュート 簡易ゲーム</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わう ・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間の侵入などから攻防をする <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的。計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボールに主体的に取り組もうとしている ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている ・互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。 				6

1 学期	<p>C 単元「陸上競技」</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができるようにする。スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶこと、走り高跳びでは、リズムカルな助走から力強く踏み切り滑らかな空間動作で跳ぶこと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 走り幅跳び 投てき</p>	<p>【知識・技能】 ・記録の向上や競争及び事故や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わう ・スピードに乗った助走と力強い踏み切りから着地までの動きを滑らかにして跳ぶ、短い助走から前方にまっすぐ投げるなどの技能を身につける</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 ・陸上競技の学習に自主的に取り組もうとしている ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている ・健康・安全を確保している</p>				6
	<p>B 単元「アルティメット」</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方などを理解するとともに、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と仲間と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 スロー キャッチ 簡易ゲーム</p>	<p>【知識・技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わう。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解する</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ・作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。</p>				8
2 学期	<p>C 単元「柔道」</p> <p>【知識及び技能】 技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 礼・座礼 受け身 後ろ受け身、横受け身 前回り受け身、前受け身</p>	<p>【知識・技能】 ・伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方、課題解決方法、試合の仕方などを理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かにするための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・武道に主体的に取り組む ・相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとする</p>				8

	<p>C 単元「陸上競技」</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができるようにする。 長距離走では、自己に適したペースを維持して走ること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 長距離走 シャトルラン ポイント走 時間走 距離走</p>	<p>【知識・技能】 ・記録の向上や競争及び事故や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わう ・走り方や呼吸法などを意識しペースの変化に対応して走るなどの技能を身につける</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的。計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている ・健康・安全を確保している</p>	○	○	○	10
3 学期	<p>A 単元「体づくり運動」</p> <p>【知識及び技能】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解する。自己の体力や生活に応じた継続的な運動について、実生活に活かす計画を立てる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と主体的に関わり合う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することが出来る。</p>	<p>・指導事項 体力を高める運動 体ほぐしの運動 柔軟運動 ペア運動</p>	<p>【知識・技能】 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わう ・心と体が互いに影響し変化することや心身の状態に気付く</p> <p>【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かにし継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・互いに助け合い高めあおうとする ・一人ひとりの違いに応じた動きなどを大切にしようとする 合意形成に貢献しようとする</p>	○	○	○	3
	<p>C 単元「体育理論」</p> <p>【知識及び技能】 スポーツから得られる恩恵とスポーツについての課題の双方から、多角的に思考し判断し表現する学習を通して、個人がスポーツ文化を創造する主体となっていることに気付くこと</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 イ スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ウ スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。</p>	<p>・指導事項 (ア) スポーツの歴史的発展と多様な変化 (イ) 現代のスポーツの意義や価値 (ウ) スポーツの経済的效果と高潔さ (エ) スポーツが環境や社会にもたらす影響</p> <p>・教材 保健教科書</p>	<p>【知識・技能】 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解する ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解する</p> <p>【思考・判断・表現】 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学習に主体的に取り組む ・豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習を主体的に取り組む</p>	○	○	○	3
							合計
							70

武蔵野北高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

保健体育 科目 保健

教科： 保健体育 科目： 保健

単位数： 1 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書： （ 新高等保健体育（大修館書店） ）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】	各種運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康、安全について理解を深めるとともに技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	ア 健康の考え方 【知識及び技能】 国民の健康課題について、我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して理解できるようにする 健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて理解できるようにする。 健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方にに基づき、適切な意思決定や行動選択により、疾病等のリスクを軽減することを含め、自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに、環境づくりが重要であることを理解できるようにする。 適切な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、心理状態、及び人間関係などを含む社会環境が関連していることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の健康やそれを支える環境づくりに関心を持ち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を育てる	・指導事項 ①日本における健康課題の変遷 ②健康の考え方 ③ヘルスプロモーションと健康にかかわる環境づくり ④健康に関する意思決定・行動選択 ・教材 新高等保健体育（大修館書店） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康水準、及び疾病構造の変化には、科学技術の発達、及び生活様式や労働形態を含む社会の状況が関わっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方にに基づき、適切な意思決定や行動選択により、疾病等のリスクを軽減することを含め、自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに、環境づくりが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・適切な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、心理状態、及び人間関係などを含む社会環境が関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	イ 現代の感染症とその予防 【知識及び技能】 感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られることを理解できるようにする。 感染症のリスクを軽減し予防するには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であることを理解できるようにする。その際、エイズ及び性感染症についても、その原因、及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の健康やそれを支える環境づくりに関心を持ち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を育てる。 定期考査	・指導事項 ⑤現代における感染症の問題 ⑥感染症の予防 ⑦性感染症・エイズとその予防 ・教材 新高等保健体育（大修館書店） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られること、その際、交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること、 ・感染症のリスクを軽減し予防するには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であること、エイズ及び性感染症についても、その原因、及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・現代の感染症とその予防について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・現代の感染症とその予防について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	ウ 生活習慣病などの予防と回復 【知識及び技能】 がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の健康やそれを支える環境づくりに関心を持ち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を育てる。	・指導事項 ⑧生活習慣病の予防と回復 ⑨身体活動・運動と健康 ⑩食事と健康 ⑪休養・睡眠と健康 ⑫がんの予防と回復 ・教材 新高等保健体育（大修館書店） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	7
2 学 期	エ 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 【知識及び技能】 喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねることを理解できるようにする。その際、周囲の人々や胎児への影響などにも触れるようにする。 薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の健康やそれを支える環境づくりに関心を持ち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を育てる。	・指導事項 ⑬喫煙と健康 ⑭飲酒と健康 ⑮薬物乱用と健康 ・教材 新高等保健体育（大修館書店） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	エ 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 【知識及び技能】 喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねることを理解できるようにする。その際、周囲の人々や胎児への影響などにも触れるようにする。 薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の健康やそれを支える環境づくりに関心を持ち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を育てる。	・指導事項 ⑬喫煙と健康 ⑭飲酒と健康 ⑮薬物乱用と健康 ・教材 新高等保健体育（大修館書店） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5

武蔵野北 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

芸術

科目 音楽 I

教科：芸術

科目：音楽 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（MOUSA 1 教育芸術社）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】	各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

科目 音楽 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	斉唱・合唱 【知識及び技能】 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解する。表現を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 自己のイメージをもって、創意工夫して歌う。	オリエンテーション ・科目の説明 ・教材 ・学習方法 ・発声 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方 表現に必要な技能の習得。 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わり。・聴き合い 教材 校歌 翼をください	○		○	【知識及び技能】 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現のため、発声言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 実技試験 筆記試験 ワークシート記述	○	○	○	18	
	ボディーパーカッション・楽典 【知識及び技能】 曲想と音色やリズムとの関わりについて正確に楽譜を読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、テクスチュアを知覚し、どのように演奏するかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 音色の工夫やリズムパターンの変化と曲想との関わりに関心をもち、	・譜読み ・楽典の基礎的事項の復習 ・個人練習（全パート） ・全体練習（全パート） ・パートに分かれてのアンサンブル 教材 クラッピング カルテットNo. 1		○	○	【知識及び技能】 ・曲想と手拍子や足踏みの音色や奏法との関わりについて理解している。楽譜を正確に読み取り、リズムを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、リズム、速度、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 音色の工夫やリズムパターンの変化と曲想との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 実技試験 筆記試験 ワークシート記述	○	○	○	8	
	西洋音楽史をたどる 【知識及び技能】 様々な時代の音楽や作曲家の特徴と、その文化的・歴史的背景との関連を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽表現の共通性や固有性について考える。音楽のよさや美しさを自ら味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な時代の文化的・歴史的背景との関連に関心をもち、鑑賞に主体的に取り組む。 混声四部合唱曲に親しむ	・西洋音楽の流れ 中世の音楽 教会音楽 グレゴリオ聖歌 多声音楽 ・西洋音楽史 作曲家年表と主な作品 ・教材 教科書			○	【知識及び技能】 西洋音楽の流れを文化的・歴史的背景との関連を知りつつ学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】 文化的・歴史的な背景を踏まえて音楽の多様性を理解し、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 ワークシート記述	○	○	○	4	

武蔵野北 高等学校 令和8年度（1学年用）

教科：芸術 科目 美術 I

教科： 教科：芸術 科目： 美術 I

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書 （ 光村図書 「美術 I」 ）

教科 教科：芸術 の目標：

【知識及び技能】	芸術に関する各科目の特質について理解し、意図に基づいて表現するための技能を身につける
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わうことができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、豊かな情操を培う。

科目 美術 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
（創造的な技能・鑑賞の能力）対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	（発想や構想の能力・創造的な技能）造形的なよさや美しさ、表現の創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったりできるようにする。	（美術への関心・意欲・態度）主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配当 時数
			絵・彫	デ	映					
1 学 期	オリエンテーション エッグドロップ 【関】 グループ活動を通して、意欲的に作品制作に関わることができる。 【技】 課題に合った装置を考え作ることができる。	・授業の進め方、評価の付け方についての説明。 ・天井から生卵を落としても、卵が割れない装置をケント紙で作るグループ課題。	○	○		【関】 グループ内で意見を出し合い意欲的に課題に取り組むことができる。（授業態度・プリント） 【技】 どのようにしたら課題をクリアできるかを考え、工夫して装置を作ることができる。（作品）	○	○	○	6
	50ドローイング 【関】 ドローイングについて興味を持ち、自分の表現を模索することができる。 【発】 材料の組み合わせや描き方などを工夫して、より多くの表現方法を試すことができる。 【鑑】 他者の表現を鑑賞し、線を描くことの奥深さを感じることができる。	・絵の具・墨・クレヨンなどの画材や生活雑貨を用いて、スケッチブックに50枚以上のドローイングを描く。	○		○	【関】 様々な表現方法を試し、より多くドローイングすることができる。（作品） 【発】 材料の組み合わせや描き方などを工夫し、より多くの表現方法を試そうとしている。（作品） 【鑑】 友達の作品を鑑賞し、自分の作品制作に生かそうとしている。（プリント）	○	○	○	8
	キャンバス制作 【関】 50ドローイングを踏まえて、自分の表現を生かしつつ作品制作に取り組むことができる。 【発】 自分の決めたテーマに合わせ、材料や描き方などを工夫して描こうとしている。 【技】 自分の決めたテーマに合わせ、材料や描き方などを工夫して描くことができる。 【鑑】 他者の作品を鑑賞し、何を表現しようとしていたのか、また表現するためにどのような工夫があったのかを感じ取ることができる。	・キャンバスに絵の具と任意の素材を用いて、自分の好きなものを表現する。	○	○	○	【関】 自分が決めたテーマに合わせた表現方法を模索しより良い作品を作ろうとしている。（授業態度・プリント・作品） 【発】 自分の決めたテーマに合わせ、材料や描き方などを工夫して表現しようとしている。（作品） 【技】 自分の決めたテーマに合わせた表現方法を用いて制作することができる。（作品） 【鑑】 他者の作品を鑑賞し、何を表現しようとしていたのか、また表現するためにどのような工夫があったのかを感じ取ることができる。（プリント）	○	○	○	10
2 学 期	テレビ番組を企画する 【関】 普段目にしていないテレビ番組の構成や番組セット、広告などをデザイン的な視点で見直し、表現の工夫を学ぶことができる。 【発・技】 架空のテレビ番組を企画し、企画した内容に適した表現をすることができる。 【鑑】 他者の作品を鑑賞し、表現方法の豊かさを感じ味わうことができる。	・架空のテレビ番組の企画書を作成する。 ・プレゼンボードを作成する。 ・テレビ番組の舞台セットの模型を制作する。	○	○	○	【関】 普段目にしていないテレビ番組の構成や番組セット、広告などをデザイン的な視点で見直し、表現の工夫を学ぼうとしている。（授業態度・プリント） 【発・技】 架空のテレビ番組を企画し、企画した内容に適した表現をすることができる。（作品） 【鑑】 他者の作品を鑑賞し、表現方法の豊かさを感じ味わうことができる。（プリント）	○	○	○	26
3 学 期	美術史 【関】 日本・西洋・近代美術史に興味を持つことができる。 【鑑】 名作を鑑賞し、表現の面白さを味わうことができる。 【技】 名画の模写を通し、より本物に近い表現に近づけることができる。	・美術史について学び、レポートをまとめる。 ・名画を鑑賞する。 ・名画を模写する。	○		○	【関】 日本・西洋・近代美術史に興味を持つことができる。（授業態度・プリント） 【鑑】 名作を鑑賞し、表現の面白さを味わうことができる。（プリント） 【技】 名画の模写を通し、より本物に近い表現に近づけることができる。（作品）	○	○	○	20
							合計			70

武蔵野北 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

外国語 科目

英語コミュニケーション I

教科： 外国語

科目： 英語コミュニケーション I

単位数： 4 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書： (Crown English Communication I (三省堂))

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校における学習の学び直しや、中学校における指導との接続に留意しながら、外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 ・新しい知識を確実に習得しながら、既存の知識や技能と関連づけたり組み合わせたりする。 ・獲得した個別の技能が自分の経験や他の技能と関連付けられ、変化する状況や課題に応じて主体的に活用できる。
【思考力、判断力、表現力等】	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識及び技能」を実際のコミュニケーションの場面において活用し、考えを形成・深化させ、話したり書いたりして表現を繰り返し使用させ、「思考力、判断力、表現力等」の伸長を図ることで、生徒に自信をもたせ、主体的・自律的に学習に取り組む態度を一層向上させる。

科目 英語コミュニケーション I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校における学習の学び直しや、中学校における指導との接続に留意しながら、外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けさせる。 ・新しい知識を確実に習得しながら、既存の知識や技能と関連づけたり組み合わせたりさせる。 ・獲得した個別の技能が自分の経験や他の技能と関連付けられ、変化する状況や課題に応じて主体的に活用できるようにさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築することができるようにさせる。 【聞くこと】 ・日常的・社会的な話題に関して、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握し、概要や要点を目的に応じて捉えることを把握することができるようにさせる。 【読むこと】 ・日常的・社会的な話題に関して、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握し、概要や要点を目的に応じて捉えることを把握することができるようにさせる。 【話すこと(やりとり)】 ・日常的な話題に関して、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにさせる。原則としてここでのやり取りは即興で行う。また、社会的な話題に関して、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにさせる。 【話すこと(発表)】 ・日常的な話題に関して、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにさせる。また、社会的な話題に関して、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにさせる。 【書くこと】 ・日常的な話題に関して、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにさせる。また、社会的な話題に関して、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養わせる。 ・「知識及び技能」を実際のコミュニケーションの場面において活用し、考えを形成・深化させ、話したり書いたりして表現を繰り返し使用させ、「思考力、判断力、表現力等」の伸長を図ることで、生徒に自信をもたせ、主体的・自律的に学習に取り組む態度を一層向上させる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 発 言	書					
lessons 1-4 【知識及び技能】 ・ターゲットである文法事項 ・言語機能の理解と場面に応じた運用 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 ・本課の題材について、理解して考えを深めることができる。 ・本課の題材について、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。 [L] 本課の題材についての対話の概要や要点、必要な情報を、写真を参考にしながら聞き取ることができる。 [R] 本課の題材に関する談話を読み、概要や要点を把握することができる。 [Sや] 本課の題材について、基本的な語句や文を用いて、与えられた表現を参考に自分の考えを話して伝え合うことができる。 [W] 本課の題材について、グループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを書いて伝えることができる。	・本課の題材に関する英語話者の体験について説明するモノローグの概要や要点を聞き取り、聞き取った内容を伝え合う。 ・本課の題材に関するグラフを見て、読み取ったことや考えたことについて話し合う。 ・本課の題材に関する談話から、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。 ・本課の題材について意見や情報を交換する。 ・本課の題材に関する談話について、概要や要点を表に書いて整理したりしながら、書いてまとめる。 ・本課の題材についての対話から、概要や詳細を聞き取る。 ・本課の題材について、情報や意見を交換する。 ・本課の題材について、グループで話し合った内容を基に、情報や考えを書く。 ・本課のターゲットである文法事項を使って、自分の考えや行動について書く。 ・本課の題材について、概要を聞き取ったり読み取ったりする。 ・本課の題材について、自分自身の考えなどを伝え合う。	○	○	○	○	【知識】 本課のターゲットである文法事項に関する事項を理解している。本課の題材の中で使われている表現の意味や働きを理解している。 【技能】 [L] 本課の題材について、対話の中での相づちをうつ表現や話の展開に注意しながら、対話を聞き取る技能を身に付けている。 [R] 本課の題材について、本課のターゲットである文法事項や本文中で使われている表現に留意して、読み取る技能を身に付けている。 [Sや] 本課の題材などについて、考える時間をかせぐ表現や例をあげる表現などを用いて、円滑に意見を交換する技能を身に付けている。 [W] 本課の題材について、グループで話し合った内容を基に、情報や考えを書いて伝える技能を身に付けている。 [L] 本課の題材について、対話の概要や要点、必要な情報を、写真を参考にしながら聞き取って捉えている。 [R] 本課の題材について、理解を深めるために、本課の題材に関する談話を読み取り、概要や要点を把握している。 [Sや] 本課の題材について、基本的な語句や文を用いて、考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 [W] 本課の題材について、グループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを書いて伝えている。 [L] 本課の題材についての対話の概要や要点、必要な情報を、写真を参考にしながら主体的に聞き取って捉えようとしている。 [R] 本課の題材について理解を深めるために、本課の題材に関する談話を主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 [Sや] 本課の題材について、基本的な語句や文を用いて、主体的に考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えようとしていたりしている。 [W] 本課の題材について、グループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、主体的に情報や考えを書いて伝えようとしている。	○	○	○	48

武蔵野北高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

外国語 科目 論理・表現 I

教科： 外国語

科目： 論理・表現 I

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書： （ CROWN Logic and Expression I New Edition (三省堂) ）

教科 外国語 の目標：

<p>【知識及び技能】</p>	<p>・中学校における学習の学び直しや、中学校における指導との接続に留意しながら、外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 ・新しい知識を確実に習得しながら、既存の知識や技能と関連づけたり組み合わせたりする。 ・獲得した個別の技能が自分の経験や他の技能と関連付けられ、変化する状況や課題に応じて主体的に活用できる。</p>
<p>【思考力、判断力、表現力等】</p>	<p>・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
<p>【学びに向かう力、人間性等】</p>	<p>・「知識及び技能」を実際のコミュニケーションの場面において活用し、考えを形成・深化させ、話したり書いたりして表現を繰り返し使用させ、「思考力、判断力、表現力等」の伸長を図ることで、生徒に自信をもたせ、主体的・自律的に学習に取り組む態度を一層向上させる。</p>

科目 論理・表現 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<p>・中学校における学習の学び直しや、中学校における指導との接続に留意しながら、外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けさせる。特に、スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、1つの段落を書くことを通じて、論理の構成や展開を工夫して伝える又は伝え合うことができるようにさせる。 ・新しい知識を確実に習得しながら、既存の知識や技能と関連づけたり組み合わせたりさせる。 ・獲得した個別の技能が自分の経験や他の技能と関連付けられ、変化する状況や課題に応じて主体的に活用できるようにさせる。</p>	<p>【話すこと(やりとり)】 日常的话题に関して、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにさせる。また、社会的な話題に関して、多くの支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して伝え合うことができるようにさせる。</p> <p>【話すこと(発表)】 日常的话题に関して、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにさせる。また、社会的な話題に関して、多くの支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して伝えることができるようにさせる。</p> <p>【書くこと】 日常的话题に関して、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して伝える文章を書くことができるようにさせる。また、社会的な話題に関して、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して伝える文章を書くことができるようにさせる。</p>	<p>・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養わせる。 ・「知識及び技能」を実際のコミュニケーションの場面において活用し、考えを形成・深化させ、話したり書いたりして表現を繰り返し使用させ、「思考力、判断力、表現力等」の伸長を図ることで、生徒に自信をもたせ、主体的・自律的に学習に取り組む態度を一層向上させる。</p>

3 学 期	<p>ネットワークとセキュリティ</p> <p>【知識及び技能】 情報セキュリティの3つの基本的な考え方を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 目的や状況に応じたネットワークを構成する情報機器の選択や接続を適切に判断する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 情報セキュリティを維持するための技術に関心を持ち、主体的に情報を送受信するための仕組みを活用する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークの構成 ・パリティチェック ・情報セキュリティ ・暗号技術 等 	<p>【知識・技能】 情報セキュリティの3つの基本的な考え方について説明することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 マルウェアや不正アクセスなどの情報セキュリティの脅威に対する対策について適切に判断し、対処することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 暗号の利用など、情報セキュリティを維持するための技術に関心を持ち、安全にネットワークを活用しようとしている。</p>	○	○	○	9
	<p>データの活用とシミュレーション</p> <p>【知識及び技能】 情報やメディアの特性（正確性・信頼性・偏り・更新性・著作権/個人情報等）を踏まえ、データを収集・整理・分析・可視化し、モデル化とシミュレーションを用いて問題を発見・解決する方法を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じてデータや手法（表計算、統計的手法、可視化、確定的/確率的モデル、シミュレーション）を適切に選択し、根拠を示しながら分析結果・解決案を説明できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 情報社会の課題に対して、データ活用とシミュレーションを適切かつ効果的に使い、試行錯誤しながら解決過程・解決案を自己評価して改善する態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の手順 ・表計算ソフトの活用 ・一人1台端末の活用 ・データの可視化 ・データベースの活用 ・モデル化 ・シミュレーション ・PPDACサイクル ・相関係数 ・回帰分析 等 	<p>【知識・技能】 データを蓄積、管理、提供する方法の仕組みや特徴について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 データの収集、整理、分析及び結果の表現の方法を適切に選択し、評価し改善する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 情報システムにより提供されるサービスや情報通信ネットワークを目的に応じて適切かつ効果的に活用しようとしている。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
							合計

武蔵野北 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 総合的な探究の時間 科目 人間と社会

教科： 総合的な探究の時間 科目： 人間と社会 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書： （ 「人間と社会」改訂版教科書、探究×SDGs、課題研究メソッド ）

教科 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】	探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目 人間と社会 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。	社会的現実にもとらされ、より良い生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見出し、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期 探究学習 【知識及び技能】 自分の住む地域について必要な知識を得る技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の住む地域の将来について課題を立て、情報を集め、整理分析してまとめ、表現することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 探究学習に主体的に取り組む態度を養う。	・指導事項 「人間と社会」教科書第2章、第6章、第12章 「探究×SDGs」地域の魅力・課題の発見、解決策の考案 ・教材 「人間と社会」教科書、「探究×SDGs」、ワークシート等 ・一人1台端末の活用 等 タブレットを用いて情報検索・発表用PowerPoint作成など	【知識・技能】 自分の住む地域について必要な知識を得る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 自分の住む地域の将来について課題を立て、情報を集め、整理分析してまとめ、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 探究学習に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	12
2 学 期 探究学習 【知識及び技能】 自分の住む地域について必要な知識を得る技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の住む地域の将来について課題を立て、情報を集め、整理分析してまとめ、表現することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 探究学習に主体的に取り組む態度を養う。	・指導事項 「人間と社会」教科書第12章 「探究×SDGs」解決策の実行 ・教材 「人間と社会」教科書、「探究×SDGs」、ワークシート等 ・一人1台端末の活用 等 タブレットを用いて情報検索・発表用PowerPoint作成など	【知識・技能】 自分の住む地域について必要な知識を得る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 自分の住む地域の将来について課題を立て、情報を集め、整理分析してまとめ、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 探究学習に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	13
3 学 期 探究学習 【知識及び技能】 自分の住む地域について必要な知識を得る技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の住む地域の将来について課題を立て、情報を集め、整理分析してまとめ、表現することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 探究学習に主体的に取り組む態度を養う。	・指導事項 「探究×SDGs」 ・教材 「人間と社会」教科書、「探究×SDGs」、ワークシート等 ・一人1台端末の活用 等 タブレットを用いて情報検索・発表用PowerPoint作成など ・成果発表会・論文作成	【知識・技能】 自分の住む地域について必要な知識を得る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 自分の住む地域の将来について課題を立て、情報を集め、整理分析してまとめ、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 探究学習に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	10
						合計
						35